

情報公開用文書

「 医用画像を用いた Artificial Intelligence 開発研究 」 へのご協力をお願い

1, 研究（調査）の目的と概略

近年、ロボット支援手術は泌尿器分野を中心に発展を遂げ、高度な手術を安全に行うことが可能になってきました。しかし、術前評価の適切な方法については課題が残っており、次世代を担う新規検査法の開発が求められています。一方、近年飛躍的に進歩している Artificial Intelligence (AI) とディープラーニング技術は、医療分野にも大きな可能性をもたらしています。本研究では、ロボット支援手術における術前評価を革新し、医療格差の解消に貢献することを目的として、AI 開発研究に取り組みます。

2, 研究（調査）の方法

徳島県立中央病院泌尿器科で医用画像を撮像した患者様のカルテ内に残っているデータをもとに予後、転帰、再発率、患者背景（性別、年齢、既往歴、生活歴、服薬歴）、術式、手術手技、手術時間、出血量、術前ステージ、周術期合併症、病理組織結果、生死・再発の有無、断端陽性率、術後血算、生化学検査、腫瘍マーカー検査値、画像評価、生活の質、病理組織学的所見などをまとめ、統計解析を行います。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。

3, 研究（調査）の参加施設

代表機関：徳島大学病院泌尿器科

共同研究施設：

徳島県立中央病院、高松赤十字病院、愛媛県立中央病院、高知赤十字病院、高松市立みんなの病院、鳴門病院、徳島赤十字病院、山口大学医学部附属病院、岡山大学病院、鳥取大学医学部附属病院、川崎医科大学附属病院、高知大学医学部附属病院、香川大学医学部附属病院、福山市民病院、島根大学医学部附属病院、愛媛大学医学部附属病院

4, 調査期間

調査期間 2006 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、泌尿器科領域癌の診断のもと、「レントゲン検査、CT、MRI、エコー検査、心電図」の診療を施行された患者様です。

6、 この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。
データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7、 お問い合わせ先

事務局 徳島大学医歯薬学研究部泌尿器科学分野
研究責任者 古川順也
当院研究責任者 中西良一
当院研究担当者 福田喬太郎
お問い合わせ先 088-631-7151